

栃木県小山市立小山城南中学校

第1学年キャリア教育講演会資料

働くことの意義や喜び、社会人になるにあたって中学時代に学んでおくべきこと

—「人生は青天井、一生青天井」「一生勉強、一生青春」—

2023年1月31日(火)

13:40~14:50

授業30分×2回

(内質疑応答10分)



開倫塾

塾長 林明夫

(公益社団法人 栃木県経済同友会 会員)

Q 1 :好きなことばはありますか。もしあれば、自己紹介の代わりに紹介してください

- A : (1)「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」
(2)「練習で泣いて、試合で笑え」
(3)「一所懸命一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組む」
(4)「スポーツの3つの宝」
①「練習は不可能を可能にする」
②「フェアプレイ (いやしいプレイはしない)」
③「よき友」
(5)「会った人は、皆、友達」



<ここでちょっと一休み「コーヒースタイル」(No. 1)です>

皆さんには、好きなことばがありますか。あったら下に書いてみましょう

Q 2 :仕事とは何ですか。人は何のために働くのですか

- A : (1)①「仕事」とは、「ものやサービス」を提供することです
②すべての「仕事」には、「お客様」がいます
③「仕事」とは、「お客様の困っていることや問題を解決」することで、「お客様のお役に立つ」ことです
(2)①同じようなことで困っているお客様が世の中にはたくさんいます
②ですから、仕事とは「もの」や「サービス」を提供し、困っている問題を解決することで、「お客様や社会のお役に立つことだ」と考えます
(3)人は何のために働くか
①お客様や社会のお役に立つため
②生活できるだけの収入を得るため
③仕事をするすることで、自分の夢や希望を実現するため(「自己実現」「よく生きる」ため)



<ここでちょっと一休み「コーヒースタイル」(No. 2)です>

(1)皆さんの知ってる仕事を1つ書いてください

(2)その仕事では、どのようなものやサービスを提供していますか

(3)その仕事のお客様は誰ですか

Q 3 : 中学校・高校時代に身に付けておいたほうがよいことは何ですか

A : (1) 「学校の各学年で学ぶすべての教科の内容」

- ①学校で学ぶすべての教科の内容は、上級学校(高校や大学、短期大学、専門学校・専修学校、大学院)や、社会に出て仕事や社会的活動するとき、また、よく生きる上ですべて役に立ちます。一生役に立ちます



- ②ですから、「学校の教科書」や「教材・参考書・辞書や地図帳・年表・ノート」などは決して処分しないで大切に保存すること



- ③そして、折に触れて取り出し、「読み直す」、一生かけて何回も「学び直す」こと

* 「就職試験」や「資格試験」のときにも、中学校・高校の勉強は役に立ちます

(2) 「効果の上がる学習方法」—社会に出てからが勉強の本番です

- ①「復習」「定着」「予習」の仕方、「テストの受け方」

* 「音読練習」「書き取り練習」



- ②「辞書・新聞・読書」に親しみ、「読解力」を身に着けること

* 意味のわからないことばは必ず辞書で調べる

* 新聞は1面から毎日読む

* 本は何回も読む(中学生は、読書をたくさんすること)

* 図書館に親しみ、大いに利用する(学校の図書館・市立図書館)

- ③「自覚をもって学ぶ」こと

* 何のために学ぶのかをよく考える



—<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク」(No. 3)です>—

勉強の仕方がよくわからず、悩んでいることがありますか。あったら書いてください



(3) 「5 S (ゴエス)」

- ① 「整理」 (seiri) … いらぬものを処分する
- ② 「清掃」 (seisou) … きれいに掃除そうじをする
- ③ 「整頓」 (seiton) … ものと同じ場所に置く
- ④ 「清潔」 (seiketsu) … ①～③を保つ
- ⑤ 「躰」 (shitsuke) … 自分で決めたこと、
みんなで決めたことは、
自分から進んで行く



(4) 別の意味の「躰しつけ」も大切です。是非、身に着けてください

- ① 「美しい立居振舞たちいふるまい」 … その場にふさわしい「服装」も大切
- ② 「美しい言葉遣ことばづかい」 … 「敬語表現けいごひょうげんを含む言葉遣ふくい」
- ③ 「元気なあいさつ」 … 「あいさつは自分からする」



Q 4 : 最後に一言どうぞ

A : (1) 「価値」「意味」「秩序」

- ① 今、行っていること、これから行おうとすることの「価値(大切さ)」とは何かをよく考え、理解する
 - ② 自分にとってどのような「意味」があるのか、自分の力で考え「意味付け」を行う
 - ③ 何をどのように行うかを自分で決める「自己決定」。自分で「ルール」を決め、「秩序」をもって行動する
- (2) 自分のまわりの人々、学校、小山市、栃木県、日本のよさ・素晴らしさを見つける。「自分のよさ」「潜在可能性」を自分で見つけ、どんどん伸ばす
- (3) 「健康第一(心の健康、身体の健康)」



<ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(No. 4)です>

自分のよいところ、伸ばしたいところは何ですか

感謝

ご清聴ありがとうございました

質問や意見がありましたら、遠慮なくお聞かせください

＜林明夫プロフィール＞

- ・ 栃木県足利市生まれ
- ・ 足利市立山辺小学校、同山辺中学校、栃木県立足利高校、
慶應義塾大学法学部法律学科を各々卒業
- ・ 大学卒業後、29歳まで慶應義塾大学法学部司法研究室研究生、
29歳の時、開倫塾を創業、塾長に就任、現在に至る
- ・ 1998年世界銀行研究所、1999年ハーバード大学行政大学院国際開発研究所で公共
部門の民営化集中コース修了
- ・ 2004～2010年マニー株式会社 社外取締役
(本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)
- ・ 2004～2012年栃木県社会教育委員

＜現在の活動＞

- ① 開倫塾日本語学校理事長、開倫ユネスコ協会会長、日本ユネスコ協会連盟評議員
通信制慶風高等学校サポート校開倫塾高等学院学院長
- ② 有朋学園 有朋高等学院理事長(福島市)
- ③ 宇都宮大学大学院工学研究科客員教授、作新学院大学客員教授
- ④ 社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑監事(足利市)
- ⑤ 足利商工会議所議員、日本商工会議所女性・シニア・外国人材活躍推進専門委員
会委員
- ⑥ 公益社団法人栃木県経済同友会理事
- ⑦ 公益社団法人経済同友会幹事(東京)
- ⑧ 栃木県生産性本部副会長、サービス産業活性化・生産性向上委員会委員長
- ⑨ 公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員
- ⑩ CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間『林明夫の歩きながら考える』」毎週土曜
日午前 9:15～9:25 番組担当、今年3月で37年目

